

ワークショップアイデアシートの回答整理（事前ワーク） ※聞きたい内容が複数の項目にかかっていたものは、それぞれに同じ内容を掲載しています。

聞きたい内容	聞く対象	呼びかけ方法
魅力・課題		
○みなみ野の中で好きな場所はどこか。	○大人、子供	○大人：町会執行部にワークショップ参加者選出を依頼する。（役員から1～2名。住民から1～2名のように） ○子ども：中学校の生徒会役員に参加依頼をする。
○みなみ野の一番好きなところ。	○小学生から大学生	○小・中学生の保護者組織から呼びかける。 ○工科大学に協力してもらう。
○中学生として地域に関われる具体的な内容をヒアリングする。 ⇒中学生の感じている地域の良さは何か、又、魅力づくりの提案。	○中学生	○学校を通して中学生に呼びかける方法をお願いします。
○多世代交流を行うには、どのような方法がありますか。	○地域住民	○子どもの楽しみを地域で共有できる活動にはどのようなものがあり、どのようにしたらできるかを考える。 ○自然塾（新井さんの活動）の活動は見本となるが、対象が限定しているので、その種類を増やすことを考える。
○どのような活動を町会に期待しますか。どうすれば町会の会員になっていただけますか？	○地域住民	○町会の活動は年々弱体化しているように思われます。しかし、災害など非常時の事を考えると町会などの組織の必要性は理解していると思われます。当番性の役員をしたくないので脱会する。町会の恩恵が分からないので脱会する、など簡単なようで難しい問題です。
○シニアサロンの活動に参加しませんか。どんな活動があれば参加したいですか？	○高齢者	○自分の生きがいを見つけられない人が多く、仲間と活動する楽しさを理解してもらうことが出来ればもっと多くの人に参加してもらえます。しかし活動に参加するには活動場所までの移動が伴い、移動困難者への支援が必要です。元気な人があまり元気でない人を支えあう体制が必要です。
○行政に地域づくりに必要な内容を出す。 ○住民と地域のお店、会社等と連携を図ることで、新たな魅力を創出する。	○住民全般	○既存のサークル活動団体に呼びかける。 ○住民が集まるスーパー等の掲示板に参加を呼びかける。（企業の協力のひとつ）
○みなみ野エリアは、公園も多く緑も豊かなのに、樹木の管理維持がされていない。	○市の公園課に具体的な計画を聞きたい。	
将来ビジョン		
○10年・20年後の未来を考えてもらい、地域の魅力を上げる	○中学生・高校生	○SNSなどを使って呼びかける（青少対など） ○地域にある組織に協力してもらう
○自分がずっとみなみ野に住み続けるというイメージ（将来像）を持っているか。 ○ずっとみなみ野に住みたいと思っているか。	○高校生 ○大学生（元々居住している）	○町会から、高校生や大学生の子を持つ親世代を通して参加を依頼する。
○困っている問題を具体的に聞く。 ○住民とのコミュニケーションの図り方。 ○外国人として住んでいて望む施設や窓口はなにのか。 ○参加したい活動、催し物。	○地域の外国人	○地域の催し物、地域の魅力ある事前や利便性を伝えていく。 ○地域に住む外国人を住民とのコミュニケーションの場、機会の提供。
○行政に地域づくりに必要な内容を出す。 ○住民と地域のお店、会社等と連携を図ることで、新たな魅力を創出する。	○住民全般	○既存のサークル活動団体に呼びかける。 ○住民が集まるスーパー等の掲示板に参加を呼びかける。（企業の協力のひとつ）
アクションプラン		
○どのようなイベントがあったら参加したいと思うか	○大人と子ども（小学生、中学生）を分けて問う	○大人：町会執行部にワークショップ参加者選出を依頼する。（役員から1～2名。住民から1～2名のように） ○子ども：中学校の生徒会役員に参加依頼をする。
○これまでに実施してきたイベントなど	○地域全体	○SNSなどを使って呼びかける（青少対など） ○地域にある組織に協力してもらう
○中学生として地域に関われる具体的な内容をヒアリングする。 ⇒中学生の感じている地域の良さは何か、又、魅力づくりの提案。	○中学生	○学校を通して中学生に呼びかける方法をお願いします。
○困っている問題を具体的に聞く。 ○住民とのコミュニケーションの図り方。 ○外国人として住んでいて望む施設や窓口はなにのか。 ○参加したい活動、催し物。	○地域の外国人	○地域の催し物、地域の魅力ある事前や利便性を伝えていく。 ○地域に住む外国人を住民とのコミュニケーションの場、機会の提供。

ワークシート ワークショップを考えよう

○日時・場所：7月 8日（土）午前中 由井市民センター 体育室 実質2時間（10時～12時）

ねらい

○推進計画の作成活動 = 推進会議の活動のアピール。仲間づくりのきっかけづくり。
○中間とりまとめをもとに、まちの魅力・課題、将来ビジョン、取組候補についてひとり意見をもろう。

ワークショップの進め方

プログラム（案）	概要（案）	役割分担
①開会・あいさつ 説明：5分	○開会宣言 ○開催にあたっての注意事項など ○あいさつ	○司会（全体進行）： ○あいさつ：市から
②地域まちづくり推進の趣旨 説明：15分	○会の導入としての説明 ・2040ビジョンの説明 ・地域まちづくり推進の趣旨 ・推進計画の策定の趣旨 など ⇒プロジェクター＋スクリーン	○市
③推進計画の検討活動報告 説明：15分	○検討経過（令和3年度からの活動） ○中間とりまとめ内容の説明 ⇒プロジェクター＋スクリーン ※質疑応答を含めて、ワークショップで対応するようにします。	○説明者：
④ワークショップ ④-1 取組み方の説明 時間3分 ----- ④-2 話し合い 最大6テーブル（40名程度） 時間：50分 ※テーブル内での自己紹介含む ----- ④-3 シェア 時間：20分 1テーブル当たり3分程度	○全体で、話し合いの進め方を説明 ⇒プロジェクター＋スクリーン ※詳細は、各テーブルで適宜補足 <テーブルを囲んだ話し合い> ○中間とりまとめを参照しながら、大きく次のテーマに区切って話し合い。 ・地域の魅力・課題 ・どんなまちになると良いか（ビジョン） ・そのための取組はどのようなものか（アクションプラン） ※中間まとめ（テーブル図）、付箋への意見の書き込み ※アクションプランは、テーブルごとにテーマを分けて話し合うことも考えられます。 ○各テーブルの話し合いの内容を紹介	○説明者：全体進行か、③の説明者 ----- ○ファシリテーター（各テーブル）： ○板書係： ----- ○発表：各テーブルファシリテーター ※全体進行は司会
⑤情報交換 各自紹介：計10分	○参加者からの情報提供（簡単な所属組織の紹介も考えられます）	○進行：司会
⑥閉会・あいさつ 説明：5分	○あいさつ（今後の簡単なスケジュールを含む） ○閉会宣言	○あいさつ：市から
その他 ○配布資料 ○参加者アンケート	○②、③の説明で使用する資料 ○話しきれなかったことを、答えてもらう	○事務局で準備、配布、回収

声かけ

対象（候補）	方法	役割分担
○小、中、高校生	○学校を通した呼びかけ ※生徒会役員 ○保護者を通した呼びかけ	
○大学生	○学校を通した呼びかけ ○SNSの活用	
○地域の住民の方 大人、高齢者、外国人	○既存サークルへの呼びかけ ○スーパーなどの掲示板の掲示 ○町会を通した呼びかけ	